



みちくさ

2015.5.11 No.3

朝会で野鳥の話をしました

先週のゴールデンウィークは、お天気にめぐまれましたね。ご家族で行楽地に出かけたおうちも多かったのではないのでしょうか。今月は運動会がありますので、また新たな目標をもって頑張っ
て欲しいと思います。

ところで、4月中旬頃から、私の住んでいる青葉区西部では、ひばりのさえずりが聴かれるよう
になりました。キジなども飛んでくるのですが、田園風景が広がっていた昔の日本では、どこでも見
られました。片平の学区ではちょっと難しいですね。空中でホバリングをしながら、甲高い声で鳴
いている姿は独特です。中学生の頃、国語の教科書にひばりのことが詳しく載っていて興味を持ち
ました。巣を地上につくることであるとか、親は巣の近くには降りないで、離れたところから地上
を移動することであるとか、また巣の近くに外敵が来たときには、偽傷といって、親がわざと傷つ
いた姿を見せ、巣から注意をそらすといった行動をとります。

すでにウグイスも鳴き始めていますので、郊外に出たときなどは、野鳥の鳴き声にも耳をすませ
て欲しいと思います。7日の朝会では、実際にひばりやウグイス、キジなどの鳴き声を子どもたち
に聴いてもらいました。実際に自分で録音も試みたのですが、残念ながら集音用のマイクでないと、
まわりの雑音が入ってしまい、うまくとれませんでした。映像はネット上のライブラリーから借り
てきました。

不気味なホトトギスの鳴き声

昔から珍重されるホトトギスという鳥がいます。ウグイスの巣に托卵する習性をもっている鳥で
す。戦国武将（信長、秀吉、家康）が詠んだとされるホトトギスの句が有名ですが、本当に本人た
ちが詠んだかどうかは定かではないそうです。

ところで、6月頃からホトトギスの鳴き声も聴かれるようになります。昔、八木山に住んでいたと
き、朝方、まだ夜が明け切らない時間帯に（朝の3時とか）、それも移動しながらホトトギスが鳴く
のです。最初、ホトトギスの鳴き声だと知らなくて、それにまさか鳥は暗い時間帯には飛ばないだ
ろうと先入観もあり、すごく不気味な鳴き声だと思っておりました。その声を聴いたとき、その日
は何か不吉なことが起きなければいいなど、本気で思っておりました。だから、
どうして昔の人は、ホトトギスの鳴き声を珍重したのか、不思議でなりません。
それくらい、ホトトギスの鳴き声は好きではないです。あくまでも個人的な見
解ですけれど。

